

# 委員会審査

6月定例会で常任委員会に付託された議案等について審査を行いました。

## 総務企画委員会

委員長 大野立志

### ◆消防費の防災費一般経費について

**説明** 避難所において被災者が滞在するために必要な防災用資機材の整備を、県の補助金を財源として平成26年度から進めている。

**問** 現在の整備状況と今後の計画および整備の内容について

**答** 現在の市内100箇所、53箇所の避難所のうち、53箇所



整備が進められる避難所  
(旧予子林小学校体育館)

所について整備を進めていく計画を昨年度作成し、平成26年度は17箇所の整備を行った。平成27年度には21箇所、平成28年度には15箇所の整備を予定している。

補助事業が平成28年度まで終了するため、残る47箇所については今後検討を行うことになっている。また、整備する資機材は、発電機、投光器、簡易トイレ、防災倉庫である。

**問** 配備した資機材の管理について

**答** 日頃の活動において点検・管理に役立つよう有効に活用していただきたいと自治会・自主防災組織にお願いしている状況である。

**◆大洲市総合計画の策定等に関する条例の制定について**

**問** 審議会委員の構成について

**答** 委員の人数は20人以内としている。新たな総

合計画は、まち・ひと・しごと総合戦略とも密接に関連することから、国が示している地方版総合戦略策定のための指針ののっとり、住民代表をはじめ、各業界からの選任を考えている。

**問** 地域の代表者が参画し、地域の実情や問題点等が計画に反映されるようにする考えはないか。

**答** 委員の人数が20人以内ということ、また、今回は各業界それぞれからの選任を考えているので、多くの方をお願いすることは出来ないが、合併前の地域を代表する方にも参加願うことは、当然、考えている。

**◆大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議条例の制定について**

**問** 大洲市総合計画と総合戦略の整合性について

**答** 総合計画は市の総合的な振興・発展などを目的とした最上位の計画であり、総合戦略はその政策の一部分となるものでもあるので、十分に整合性を図りたい。

**問** 戦略の柱となる構想は何か。

**答** 国の総合戦略の、人口減少克服と地方創生に向けた4つの基本目標に則り、当市の歴史と文化を活かした独自性のある戦略をどのように打ち出しているか、国や県の戦略とも整合性を図りながら検討を進めていきたい。

**意見1** それぞれの計画策定にあたっては、委託業者任せとせず、審議会委員の意見が十分に尊重される取り組みを求める。

**◆請願第22号「南海トラフ大地震が起きて伊方原発の安全が保障されること」が明らかになるまで伊方原発の再稼働をしないこと」を求める意見書採択を求める請願**

**意見1** 新規制基準については、あくまでも人間が考える想定内での考えであって、南海トラフ大地震などがくれば、その基準をはるかに超えるような想定外のことがおきるのではないかと、不安がある。また、世論調査でも約7割近い人は再稼働に反対であり、この請願は採択すべきである。

**意見2** 市民の方が不安を

持っておられることは認識している。しかし、この請願が出されたときから、何ら国や県の状況も変わっていない。規制委員会の審査結果が出てからがスタートであると考え。現時点では継続して審査するべきではないか。

**審査結果** 継続審査

**◆請願第23号「集団的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」の策定中止」を求める意見書採択についての請願**

**意見** 日本が戦争する国へと歩もうとするの趣旨に賛同することは出来ないもので、不採択とすべきである。

**審査結果** 不採択



伊方原子力発電所(長浜町榎生)